

平成30年度 大阪市設瓜破霊園ほか 3 霊園及び
大阪市立服部納骨堂 事業報告書

一般財団法人 環境事業協会

施設概要

名称	所在地	面積	施設規模	主な園内施設
瓜破霊園 (合葬式墓地含む)	平野区瓜破東 4-4-164	280,772 m ²	12,775 区画	事務所、休憩所
服部霊園	豊中市広田町 1-1	192,448 m ²	8,124 区画	事務所、休憩所
南霊園	阿倍野区阿倍野筋 4-19-115	61,319 m ²	9,971 区画	阿倍野複合施設 1F
北霊園	北区長柄中 2-4	20,236 m ²	4,151 区画	事務所、休憩所
服部納骨堂	服部霊園内		個人壇 276	式場
			家族壇 48	

指定管理者

団体名	一般財団法人 環境事業協会
所在地	大阪市中央区南船場 1丁目 16番 13号 堺筋ベストビル9階
代表者	理事長 高木 亨
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
報告対象期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日
担当者	霊園管理課長 加地 唯良
連絡先	電話 06-6121-6427

指定管理業務の実施状況

1. 管理運営方針

指定管理業務の運営にあたりましては、大阪市霊園条例等の関係法令・規則等を熟知した実務経験者を職員として配置し、園内施設・設備等の適正管理をはじめ、霊園窓口における受付申請事務等の厳格かつ円滑な遂行に努めるとともに、墓参者等の信頼に応えるため、安全・安心を確保したサービスの向上に努めてきました。

また、墓参者等に対する「サービス」及び「情報」の公平・平等な提供を行うため、霊園管理課と各霊園間の情報共有と認識一致の徹底を図り、円滑・適正な業務運営を行いました。

霊園利用者台帳や墓籍簿等の取り扱いにあたりましては、個人情報保護の観点から、プライバシーマーク取得事業者の責務として、個人情報の適切な取り扱いの徹底に努めてきました。そのためには、職員ひとり一人の意識向上を図るため、昨年度に引き続き、全職員に個人情報保護研修会を受講させました。さらに、個人情報の一元管理（コンピューター化）により、適正かつスムーズな事務処理を行いました。

当協会では、平成29年度、女性の活躍促進に向け社会全体で取り組んでいくことをめざし、「意欲のある女性が活躍し続けられる組織づくり」「仕事と生活の両立（ワーク・ライフ・バランス）支援」「男性の育児や家事、地域活動への参画支援」について積極的に推進する企業等が社会的に認知されることでその取り組みが広く普及することを目的に大阪府が実施しています認証事業「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」の認証を受けました。

代行霊園の施設等の管理におきましては、公園式墓地としての機能を維持・継続させるため、中長期的視野に立って、質の高い植栽管理や設備等の整備など、施設の適正管理等について計画的・継続的に行いました。

当協会では、より良い業務運営を行うため、安全性及び利便性の向上にむけ、墓参者サイドに立った提案への協議を大阪府にお願いするなど、業務改善に努めました。

2. 職員体制

霊園の管理体制については、適切で円滑な管理運営が行えるよう、平成30年度事業計画書に基づく職員を配置しました。

・ 特別対応期間（盆、春・秋彼岸、年末年始）の体制

特別対応期間中は、多くの墓参者が来園され園内及び周辺道路が大変混雑し、また、霊園窓口では霊地使用に関する申請等の提出や相談も多く、霊園職員及び本社職員の全身体制で対応しました。また、警備員を適正に増員配置し、園内巡回の強化、園内誘導、交通渋滞対策を行いました。

特別対応期間中の警備員配置数 [総数 528名]

		盆(8/11~15)					秋彼岸(9/21~25)					年末年始(12/29~1/3)					春彼岸(3/20~24)					
期間中配置合計人数		149					151					76					152					
1日配置合計数		30	30	30	30	29	29	31	31	31	29	13	13	13	13	12	12	30	31	30	31	30
各日 配置数	日曜	11	12	13	14	15	21	22	23	24	25	29	30	31	1	2	3	20	21	22	23	24
	土曜																					
	瓜破	12	12	12	12	12	13	13	13	13	13	4	4	4	4	4	13	13	13	13	13	
	服部	11	11	11	11	11	10	11	11	11	10	2	2	2	2	2	10	11	10	11	11	
	南	5	5	5	5	4	4	5	5	5	4	5	5	5	5	4	4	5	5	5	4	
北	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		

3. 個人情報保護及び情報公開の基本的な考え方

(1) 個人情報保護に関する考え方

近年の社会では、情報の発信、受信等を行うためにインターネット等の利活用が定着しており、個人、法人を問わず、あらゆる情報が利用できる環境にあります。

そうしたなか、霊園では、多くの個人情報を取り扱っており、これら個人情報を厳格かつ安全に取り扱い保護することは、プライバシーマーク取得事業者であり、霊園の指定管理者である協会としての社会的責務であると考えています。

そのため、日常的に取り扱う個々職員による関係法令の遵守はもとより、個人情報保護に対する心構え、組織としての個人情報保護制度の構築、さらに、個人・組織を問わず、ITへの習熟・理解などが求められると認識しています。

そうした様々な観点から、より一層の徹底を図るため、協会では、プライバシーマークの認証の趣旨に基づき業務を行うとともに、定例の事務研究会及び実務研修会の実施などの取り組みを行いました。

(2) 情報公開に関する考え方

大阪市民の「知る権利」を保障し、公平・平等に対応するとともに、代行霊園の管理運営における透明性を確保するため、「大阪市情報公開条例」「同条例施行規則」に基づき、当協会が独自に要綱（公開請求方法等）を定め業務を行いました。

4. 実施事業

(1) 各種届出受理等霊園管理業務

霊園使用权等に係る各種届出の受理にあたりましては、丁寧な説明を行い、提出いただく関係書類の内容等をご理解いただいたうえでご提出いただき、受理後は、迅速かつ適正に事務処理を行いました。

また、各種届出の受理にあたっては、必要に応じて現地確認等を実施し、場合によってはリーガルチェックを行いました。

なお、平成30年度の各種届出受理件数は、次のとおりです。

霊園名		瓜破	服部	南	北	合計
取扱い件数		2,821	1,785	1,516	572	6,694
内訳	埋蔵届	662	518	327	189	1,696
	承継届	342	223	166	52	783
	埋蔵・分骨証明	175	94	223	27	519
	改葬届	148	89	233	22	492
	工事着手	543	364	203	115	1,225
	臨時使用	487	295	191	109	1,082
	住所・氏名・本籍変更	162	96	79	30	367
	譲渡	44	31	26	15	116
	返還届	58	33	39	6	136
	再交付	32	31	12	3	78
	表示変更	11	11	9	1	32
	霊園使用許可	157	0	0	0	157
継続使用許可	0	0	8	3	11	

合葬式墓地（瓜破霊園）	
取扱い件数	3,246
使用許可申請	398
使用料減免申請	15
埋蔵届（直接合葬）	227
収蔵届（10年間保管型）	30
収蔵届（20年間保管型）	15
墓地記名申請	276
個別参拝室使用許可申請	62
見学対応・窓口相談	981
電話相談	1,181
その他	61

納骨堂（服部霊園）	
取扱い件数	21
更新申請	7
使用許可申請	3
返還・遺骨受領届	1
埋蔵・収蔵証明書	1
使用料減免申請	0
住所・氏名等変更届	0
許可証再交付申請	0
個別参拝室使用許可申請	9

（2）使用料、手数料

適正に徴収手続きを行いました。

	臨時使用料		事務手数料		
	件数	金額（円）	件数	金額（円）	
取扱い件数・徴収金額	1,164	1,938,300	1,908	477,000	
内訳	瓜破霊園	488	838,650	755	188,750
	合葬式墓地	62	65,000	34	8,500
	服部霊園	296	422,100	475	118,750
	納骨堂式場	18	66,700	0	0
	南霊園	191	372,900	514	128,500
	北霊園	109	172,950	130	32,500

更新管理料の未収金対策については、「霊園管理料の未納にかかる事務処理マニュアル」に基づき、滞納者には速やかに連絡を取るとともに督促を行い、納入を促すなど適正に業務を行いました。

・平成30年度末未収金件数

瓜破霊園 0名 服部霊園 1名

(3) 霊園施設・樹木等維持管理業務

- 施設の維持管理につきましては、清掃及び整備等を行い、園内環境の保全に努めるとともに、樹木の維持管理につきましても、景観を損なう事の無いよう剪定等維持管理を行いました。

主な植栽管理実施状況

項目	樹木剪定		除草				植栽計画	
	樹木刈込	樹木剪定	芝刈	草刈	抜根除草	除草剤散布	樹木植付	花苗植付
単位	m ²	本	m ²	m ²	m ²	m ²	本	株
瓜破霊園	2,968	626	71,350	4,506	2,880	570,130	132	460
服部霊園	43,769	43	27,728	50,663	278	94,447	26	664

項目	樹木剪定	除草				殺虫剤散布 生垣・低木	樹木花苗植付
	刈込	芝刈	草刈	抜根除草	除草剤散布		
単位	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	株
南霊園	955	150	100	200	42,000	3,000	45
北霊園	526	650	6,953	918	13,237	96	30

主な施設管理 実施状況

項目	園内巡視 点検	園内ごみ 工場搬出量	トイレ建物等 清掃	園路管理地 清掃	バケツ棚 点検整理	補修・整備	園路整備	市民広聴 対応
単位	回	kg	回	m ²	回	件数	m ²	件
瓜破霊園	365	91,741	323	121,800	283	6	445	117
服部霊園	365	39,042	323	50,503	1919	44	452	46

項目	園内巡視 点検	園内ごみ 工場搬出量	トイレ建物等 清掃	園路整備	バケツ棚 点検整理	市民広聴 対応
単位	回	kg	回	m ²	回	件
南霊園	365	35,626	323	135	170	55
北霊園	365	14,099	323	0	323	29

(4) 無料送迎バス 〈運行状況実績〉

霊園	区間	通常時1日本数	年間利用者数
瓜破霊園	地下鉄谷町線 出戸駅 ⇄ 瓜破霊園	14往復 28便	22,605
服部霊園	北大阪急行 緑地公園駅 ⇄ 服部霊園	6往復 12便	8,630
	阪急宝塚線 曾根駅 ⇄ 服部霊園	6往復 12便	10,125
合計		26往復 52便	41,360

〈盆、彼岸の送迎バス増車〉

お盆、彼岸等の墓参者集中時期は、増便・増車をを行い対応しました。

特別期間送迎バス便数

		盆(8/11~15)					秋彼岸(9/21~25)					春彼岸(3/20~24)				
期間中便数合計		750					750					750				
1日便数計		150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150
各日 便数	日	11	12	13	14	15	21	22	23	24	25	20	21	22	23	24
	曜	主	日	月	火	水	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
	瓜破	74	74	74	74	74	74	74	74	74	74	74	74	74	74	74
	服部	76	76	76	76	76	76	76	76	76	76	76	76	76	76	76

- ・ 瓜破霊園では、昨年度同様、園内循環バスを墓参者の利便性向上を図るための取り組みとして、年末年始（12月29日～1月3日）にも継続して運行しました。この取り組みは、多くの利用者の好評をいただいたところです。
- ・ さらに、送迎バスの乗降場所には、必要な警備員を配置し、利用者の乗降時の安全確保を心掛けるなどのサービス向上に努めました。
- ・ 特に、墓参者の多いお盆には、霊園職員及び協会本社の職員が、バス乗降場所や霊園内において、墓参者の求めに応じてお声掛けするなど、親切丁寧な接遇サービスを行いました。
- ・ 送迎バスの運行に関しましては、墓参者から増便等の要望をいただく一方で、多くの皆様から便利で助かる有難いなどの、お言葉を頂戴するなど、好評をいただいています。

(5) 安全対策

- 霊園内の安全対策については、墓参者の安全・安心を確保するため、各霊園において毎日、巡回員による巡回パトロールを行い、霊園内の安全対策に努めました。

また、瓜破霊園においては、夜間の園内事故や犯罪行為、不法駐車等の未然防止対策のため、7月15日から9月14日の間、17時から翌日5時まで有人警備を実施するとともに、大阪府警平野署と連携した対応を行うなど、事故等の防止に努めました。

さらに、瓜破霊園で発生した置き引き対策としては、巡回パトロールの強化、啓発看板の設置、大阪府警平野署と連携等を行い再発防止に努めました。

- 霊園内のホームレス対策につきましては、平成24年度以降は南霊園のみとなっており、巡回相談指導員の説諭等により自主退去を促した取り組みの結果、現在では、2名のホームレスを確認しています。今年度につきましても、引き続き、巡回相談指導員の巡回による説諭等を行いました。
- 特別対応期間（盆、春・秋彼岸、年末年始）中は、多くの墓参者の来園により、園内及び周辺道路が混雑する他、霊園使用に関する申請書等の提出や埋蔵・改葬等の相談も多いため、霊園の全職員をはじめ本社職員の応援体制で対応しました。また、期間内の園内巡回を強化するため、警備員を増員配置し、園内誘導、交通渋滞対策を行いました。
- 霊園内における災害等への対応は、台風接近時等には被害を最小限度に抑えるため、休園日等にかかわらず強風対策など事前に適切な対応を行い、台風通過後には、墓参者の安全確保の観点から速やかに施設等の点検を行いました。今期は、平成30年6月に大阪北部地震が発生し、9月には台風21号と24号が相次いで来襲し、代行霊園に少なからずの被害が生じました。墓参者等の安全・安心の確保を第一に、大阪市の指示に基づく緊急時対応を協会一丸となって講じました。
- 緊急時対応については、不測の救急救命に備え、全霊園職員が、管理事務所に設置するAED（自動体外式除細動器）の使用方法を学習するため、継続して消防署の講習会を受講しました。

なお、霊園におけるAEDの設置状況は、ホームページや大阪府AEDマップにも登録して周知しています。

(6) ホームページ等を利用した情報提供

協会が発信する霊園情報等については、霊園の概要や事務手続き、合葬式墓地の使用者募集、お盆、彼岸など墓参者集中期の無料送迎バスの増車、増便による時刻表変更及び墓参者用駐車場の開放日など必要な情報は、その都度協会ホームページに公開し提供しました。

各種手続きや無料貸し出し物品等の情報については、各霊園の管理事務所や休憩室に設置した掲示板を活用し周知しました。

協会ホームページのリニューアルについては、利便性の向上に向けスマートフォン対応、ページ内リンクのスクロール等を行いました。今後とも部分的な変更を都度行い、より見易いホームページとなるように努めます。(平成30年4月～平成31年3月 セッション件数 28,725件)

ホームページを利用した件数

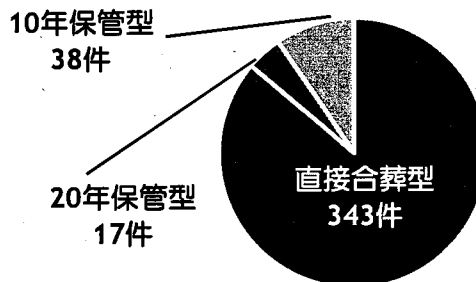
年月	件数	年月	件数
平成30年4月	1,518件	平成30年10月	2,266件
5月	1,945件	11月	2,005件
6月	2,109件	12月	2,141件
7月	2,088件	平成31年1月	2,605件
8月	3,969件	2月	1,954件
9月	3,131件	3月	2,994件
合計			28,725件

5. その他の実施事業

(1) 合葬式墓地使用者募集(瓜破霊園)

- 合葬式墓地管理業務については、募集、施設維持管理及び使用許可に関する業務を適正に行うとともに、平野区の広報を強化した結果、今年度は合葬式墓地申込件数が過去最多となりました。
また、合葬式墓地募集業務や見学等の問い合わせには、親切丁寧な対応は当然のこととして対応を行うとともに、申込者の利便性を考慮し、全ての霊園管理事務所で新規受付事務及び相談業務を行いました。
- 合葬式墓地の募集は、次の広報媒体を利用し、募集広告を行いました。
 - ・ 大阪市広報紙
 - ・ 大阪市営地下鉄の車内吊広告
 - ・ 指定管理者のホームページ
 - ・ 今年度は平野区の広報紙・広報板に宣伝広告を掲載しました。
- 合葬式墓地の募集期間の延長
合葬式墓地使用者の申し込みを促進するため、募集期間を通年にして行いました。
- 献花式は10月1日(月)午前10時から開催しました。
 - ・ 参列者数：約450人
 - また、参列者用にマイクロバス1台を増車しました。
- 周辺自治体等からの見学依頼へは、毎回、適切かつ親切・丁寧を旨に対応しています。
見学件数 2件

**30年度 合葬式墓地申込受付件数
総数 398件 (許可件数：398件)**



■ 直接合葬型 ■ 20年保管型 ■ 10年保管型

(2) 霊園使用者募集

- 大阪市設瓜破霊園の霊地使用者募集を行いました。
 - ・募集期間 平成30年9月1日(土)～9月11日(火)
 - ・広報活動 市広報誌・各区広報誌の広告・広報板など
 - ・抽選会 平成30年10月7日(日) 大阪市立阿倍野市民学習センター
 - ・2次募集 平成31年1月10日(木)～16日(火)
 - ・抽選会 平成31年1月27日(日) 大阪市立阿倍野市民学習センター

申し込み状況

	1次募集		2次募集	
募集数	201区画 (419霊地)		88区画 (222霊地)	
申込数	区画数	件数	区画数	件数
	132区画	326件	51区画	150件
キャンセル区画	33区画		14区画	
繰上げ当選	7区画		7区画	
新規許可区画数	106区画		44区画	

(3) 墳墓整備事業

- 市設霊園では、墳墓の使用者、埋蔵者を明確にし、霊地管理の適正化を図るため、前年度に引き続き使用者調査等を行いました。
- 大阪市設霊園無縁墳墓改葬工事を行いました。
 - ・実施霊園 北 霊園
 - ・実施期間 平成30年12月20日～平成31年3月15日
 - ・実施墳墓 70区画
 - ・実施内容 対象無縁墳墓(改葬公告実施済)は、解体、竿石安置、台石撤去処分、遺骨の掘起し・拾骨等を行い、その後、霊地整備等を行いました。

6. 収支決算状況

平成30年度の決算状況については、次表のとおりです。

取 入		296,736,091円
内 訳	管理代行料	296,282,839円
	自動販売機収入等	503,252円
支 出		287,852,822円
内 訳	人件費	133,515,787円
	物件費	154,337,035円
差 引		8,933,269円

○ 経費縮減の取組

管理運営における経費面では、各職員がコストを強く意識した業務運営を行い、業務委託や物品購入等の業者発注案件では、要不要の精査にわえ、業者発注する際も競争入札を基本とし、見積もり合わせの場合であっても、複数業者から見積書を徴取するなど、経費の縮減に努めました。

○ 自主事業の取組

項目	収入金額	備考
自動販売機	476,222円	瓜破霊園 4台 服部霊園 2台
線香 ろうそく	27,030円	475束 328本

7. その他

(1) 無料貸し出し物件

通年での取り組みではありますが、今年度も墓参に必要な物品は、無料貸し出しを継続して行いました。

剪定鋏・刈込鋏、着火器、傘、車いす（*）、自転車（瓜破、服部）

（*サスペンション付（全霊園）オフロードタイプ（服部））

その他、霊園内には、ロッカー（無料）を設置し、利便性の向上と置き引き対策にも努めており、利用者から大変好評をいただきました。

	瓜破霊園	服部霊園	北霊園	南霊園	計
自転車	1319	1101	—	3	2,423
ロッカー	259	109	24	41	433
剪定はさみ等	246	516	42	57	861
ちり取り・ほうき等	—	6	—	56	62
ライター・着火器	264	371	76	56	767
車椅子	31	18	35	14	98
傘	13	31	—	6	50
鋸・スコップ等	—	164	10	28	202
計	2,132	2,316	187	261	4,896

(2) サービス向上策

- 墓参者サービスについては、施設等の維持管理を的確に行うとともに引き続き今年度につきましては、積極的にサービス向上策を次のとおり行いました。
- 瓜破霊園の交通安全対策として園内駐車場の誤進入、違法駐車禁止等の防止策として区画線施工や看板を設置しています。今後も、必要に応じて安全対策を行います。
- 瓜破霊園及び服部霊園では、園内道路の交通安全確保のため、マルチポップサイン（徐行）を新たに各3基増設しました。今後とも必要に応じ設置します。
- 瓜破霊園
 - ① 墓碑糞害対策として、ハトが集まる場所にエサやり禁止の看板等の設置を行っています。
 - ② 漏水の多い瓜破霊園では、漏水をいち早く発見するため、水量を簡単に確認できる遠隔メーターを一昨年設置しましたので、以後毎日、メーター検針を行っています。
 - ③ 墓参者の通行に配慮し、園内道路に碎石敷均を行いました。
 - ④ 新墓地（7区～12区）駐車場に、送迎バスの停留所を新設しました。
- 利用者の要望に速やかに対応するためには、場所の特定がカギとなります。そのため、昨年度、瓜破霊園に続いて南霊園の水汲み場及びバケツ棚へ番号を取り付けましたので、今後、北霊園でも行います。

- 各霊園管理事務所では季節の花をプランター等に植付け、入口付近に設置し利用者のお迎えに供しました。
瓜破霊園 生垣90本を植樹（ウバメガシ）、中木植樹25本（ムクゲ 他）
老朽木等撤去後の高木植樹17本（サルスベリ 他）
服部霊園 樹木や草花の維持管理に努め、桜の時期には今年も多くのお参者や利用者を楽しんでいただきました。
事務所や納骨堂前の一角に季節の草花（ペチュニア、三色すみれ 他）のプランターを設置しました。
- 各霊園において、お参者や利用者に対するアンケート調査を実施しました。
アンケートの意見、要望では、園内のトイレ・水汲み場等施設に関するものが多くありました。
こうした要望への対応は、工事が必要で工事費が高額になるものは大阪市環境局に協議をお願いしつつ、可能な範囲で、優先順位が高く対応できるものから速やかに行いました。その他、備品等（バケツ、ひしゃく等）の補充などについては、即対応を行いました。
また、寄せられたアンケートは、月毎に集約のうえ、「利用者アンケート検討連絡会議」を月1回開催し、各霊園間の問題意識の共有化を図り、お参者や利用者のご意見・ご要望等を、各霊園の実情に即したサービスの向上に反映させることに努めました。
アンケート調査の概要は次のとおりです。

< 平成30年度アンケート調査概要 >

瓜破、服部、南及び北各霊園をお参等でご利用の皆様に対し、アンケート調査を行いました。

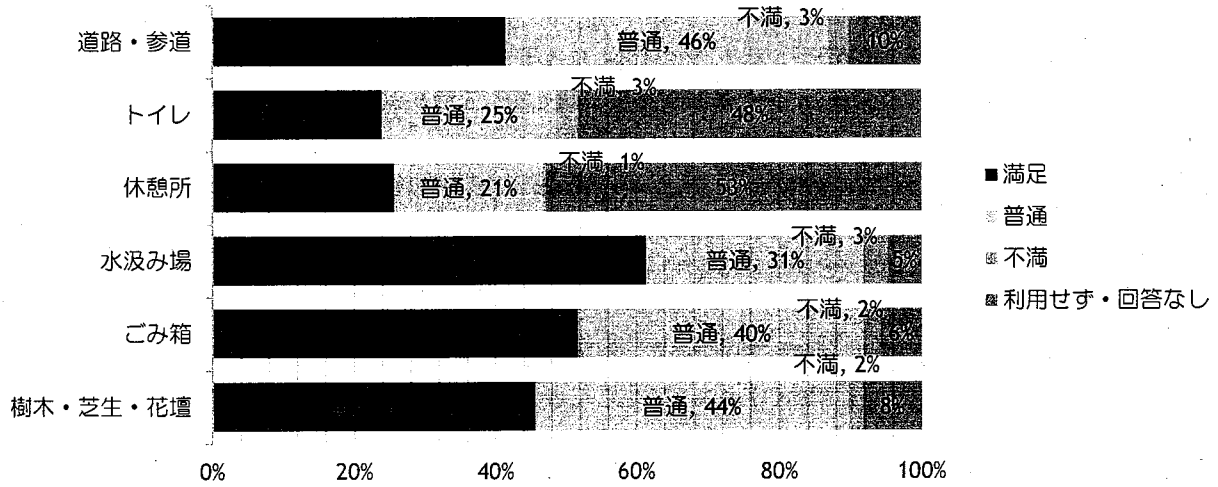
< アンケート総数 >

瓜破霊園	291件
服部霊園	108件
南霊園	0件
北霊園	0件
総数	399件

< 主な項目 >

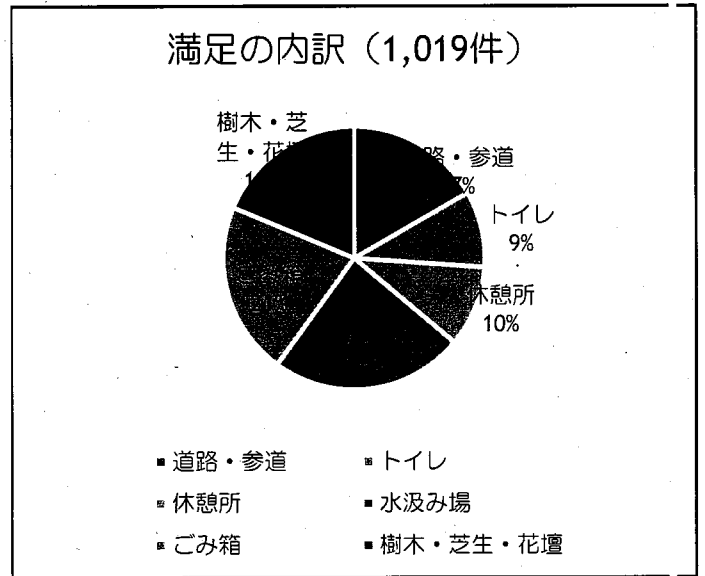
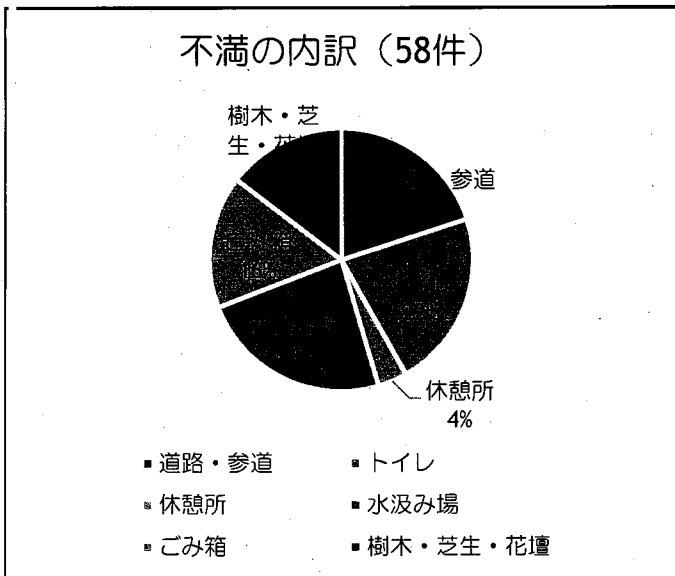
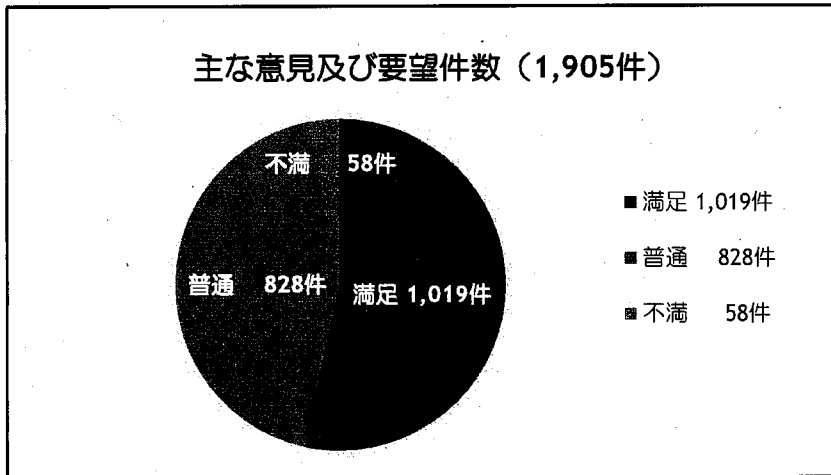
	満足	普通	不満	利用せず・回答なし
道路・参道	41%	46%	3%	10%
トイレ	24%	25%	3%	48%
休憩所	26%	21%	1%	53%
水汲み場	61%	31%	3%	5%
ごみ箱	52%	40%	2%	6%

項目別満足度



< 主な意見及び要望件数 >

アンケートで下表のとおり意見・要望がありました。



◇ 園内道路及び車両に関する主な意見・要望（11件）

- ・ 道路の形状で端の部分が歩きにくい。
- ・ 砂利で車いすやカートで通行しにくい。

◇ 園内の施設等に関する主な意見・要望（29件）

- ・ トイレが汚い、トイレの増設。
- ・ 休憩所の空調が適切でない。
- ・ ごみの分別ができていない、盆、彼岸に満杯になっている。
- ・ バケツ等の備品が破損している、タワシ等の備品が不足している。

◇ 樹木・芝生・花壇、草花を増やしてほしい。（8件）

◇ 送迎バスに関する主な意見・要望（10件）

- ・ 増便してほしい、常時園内走行してほしい、乗り場の表示を分かりやすくしてほしい。

※利用者の意見、要望等については、対応可能な件については、速やかに対応を行うとともに改善事例を改善報告書にまとめ、休憩室に設置を行い、利用者の皆様に公開しました。

- 夏場の瓜破霊園では、涼しくなる夕方からの墓参者の増加に対応するため、2か月間（7月15日～9月14日）車両通行時間の延長を行いました。

（3）各種団体との連携した取組

霊園の管理運営業務内容の質向上のため、（社）全日本墓園協会が開催する会議等に参加し、霊園業務に関する新たな情報の取得に努めました。

さらに、（財）東京都公園協会等とも連携及び交流を深め、情報交換・情報収集に努めました。

（4）地域との連携した取組

- 瓜破霊園では、平野区瓜破東小学校が行う、全校生徒のミニマラソン大会に協力（園内道路の利用）しました。
- 瓜破霊園では、園内に居ついている所有者が不明な猫について、周辺住民と連携し、また、大阪市の支援をいただきながら街ねこ対策として取り組みを進める活動を継続して行いました。（30年度 猫去勢実績：10匹）
- 霊園では、近接する中学校が開催する「職場体験学習」に協力し、生徒の受け入れを行っていますが、30年度は、希望者がいませんでした。
- 服部霊園では、園内の池に住み着いた外来種のヌートリアを地域の皆さんと協力して捕獲しています。

（5）環境への取組

協会では、環境目標を「環境方針」として制定し、本社、各霊園で各種取り組み（環境負荷の削減等）を行いました。

- 北霊園事務所に緑のカーテンを設置しました。
- 瓜破霊園の休憩室前等に緑のカーテンを設置しました。

（6）ペットに関する対策

瓜破霊園ではペットの散歩マナーの順守を、服部霊園では、ペットの散歩の禁止などの、啓発看板を必要に応じ増設しています。また、霊園巡回時に啓発テープ放送、声掛けによる啓発を継続して行いました。

ひょうたん池に生息するガチョウによるふんの影響や集団行動による威圧感から来園者の苦情が生じたため、大阪市の指示のもと、捕獲のうえ河南町にあるワールド牧場に引き取っていただきました。

（7）入園車両へのマナー対策

霊園では、霊園内の駐車場を常時駐車場代わりにしている人や霊園内で車両の手入れ等をしている人たちに対し、そのような行為をやめていただくよう継続して注意喚起しました。

（8）就職困難者への取組

協会における取り組みでは、これまでから積極的に障がい者を雇用し、法が定める障がい者雇用率を遵守しており、今年度も雇用率を守りました。

また、協会では、障がいのある方の就業体験事業に協力するため、大阪市障がい者就業・生活支援センターと調整を行い、今年度も、瓜破霊園及び服部霊園で花の植え込み作業や園内通路の清掃作業等に従事していただきました。

- ・ 瓜破霊園 12月6日(木)中止、7日(金) 5人・スタッフ1名 合計6名
- ・ 服部霊園 12月5日(水)、6日(木) 各日4人・スタッフ1名 合計10名

(9) 人権への取組

協会では、継続して職員の人権等への意識の向上に努めるとの観点から、昨年度に引き続き、全職員を対象に人権問題研修を行いました。

(10) 各種研修

○ 各霊園内における研修

各霊園の所管事務所では、祭祀財産の承継等に関する事務については、日常業務の中で実務経験者が新人職員に実務教育を行いました。また、全体的には、次の研修等の取り組みを行い、職員のスキルアップに努めました。

- ・ 霊園事務の共有化を図り、事業の改善を目的に霊園事務研究会を定例的に実施しました。
- ・ 植栽管理の担当者には、適切な植栽管理及び安全作業に必要な知識・スキルを日常的に実務経験者が実務教習を行いました。
- ・ その他の研修については、外部講師による法令研修、接遇研修の実施の他、外部の各種団体が実施する人権啓発研修、コンプライアンス研修、メンタルヘルス研修、障がい者就労に関する研修会に、管理職員を中心に受講させ、受講後、各管理職員がそれぞれの霊園において各種研修を行いました。
- ・ 日常においては、業務面での課題等をはじめ業務に関連する社会問題等を題材に職員間で討議を行いました。
- ・ さらに、知的障がい者の就業体験事業時には、職員に事業目的等の事前説明を行うなど、常に職員の人権等への意識を向上させるための取り組みを進めました。

研修名	実施日	対象者	講師
新任管理事務研修	4月12日(木)	新任職員	総括責任者・管理責任者
環境問題研修	6月14日(木)	管理監督者	外部講師[大学講師]
	1月30日(水)・2月6日(水)	全員	外部講師[大学教授]
接遇研修	10月29日(月)	全員	外部講師[接遇・マナー講師]
接遇指導者研修	3月13日(水)	選抜	外部講師[接遇・マナー講師]
墓地管理講習会	10月31日(水)～11月2日(金)	選抜	(公社)全日本墓苑協会
個人情報保護研修	10月5日(金)	部門管理責任者	個人情報保護管理責任者
	10月6日(土)～16日(火)	全員	部門管理責任者
霊園事務に係る法律及び個人情報保護に関する研修	10月29日(月)	全員	外部講師[弁護士]
人権・コンプライアンス等研修	7月5日、8月30日、9月13日	管理監督者	人権リーダー認定者
	3月19日(金)～28日(水)	全員	管理監督者